

高橋しんすけ 議員報告

無政党・無所属 市民議員

高橋伸介：1953.4.25生れ、A型。佛教大学卒。京都信用金庫に10年勤務後、染色補正技能士として京都の伝統産業に従事。市民オンブズマンを経て1999年より市議会議員。後援会組織を持たず、一切合切を一人でこなす**完全ひとり選挙**の手法を貫き現在2期目。行財政改革系・納税者系・オンブズマン系の市民派市議会議員。



議員控室から発信中！ 高橋しんすけ.com

<http://www.kcat.zaq.ne.jp/shinsuke/>

枚方市役所議会事務局〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 tel 072-841-1221 / 自宅〒573-1106 枚方市町楠葉(まちくず)は2-27-6

2007年(平成19年)を迎えました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。市会議員は不特定多数の方に新年のご挨拶をする事は出来ません。新年のご挨拶につきましては枚方市議会報の新年号に議会会派「改革市民会議」からご挨拶を掲載しておりますのでご容赦願います。

さて早速ですが、今号では昨年10月18日に行われました決算特別委員会での私の質疑をご報告いたします。

◆夕張市について



財政破綻に至った北海道夕張市は、いわゆる一時借入金操作により巨額の借金を隠ぺいしていた。



一時借入金の操作

一般会計で借り入れた金融機関からの一時借入金を特別会計への貸付金とし、それを一般会計に環流して赤字補てんのための歳入扱いとしていた。また、一時借入金の返済については出納整理期間中の借り換えにより、返済は前年度扱い、借り入れは新年度扱いとしていたことなどから、一時借入金が年々増大していった。



今回の事件では監査、そして当然議会の責任が大きく問われるところだ。そこで枚方市の歳入歳出決算書を読んでみたのだが、「一時借入金」という文字は実は出てこない。決算概要説明書によろしく「一時借入金利子」として計上されているだけだ。これではよほど会計に精通した議員がいな

いとチェックは難しいのではないかと。

今回は会計室にマネーフロー表をつくってもらい、それを見て、本市の一時借り入れは条例通り適正に行われていることがわかった。



枚方市の監査

今年から監査機能の補完として包括外部監査が入った。公認会計士の外部監査人1人と本年4月1日に契約を行った。補助者として、弁護士、公認会計士等8人。

首長を頂点にした行政、監査、最終議決チェック機関である議会が、未必の故意とでも言うような了解のもと、いったん動き出してしまえば、チェックは機能しないも同然だということが、この夕張市の一件でもよくわかる。

私は最終的には議会の責任だと思っている。議会の責任とは、最後は住民の責任であり、選挙権のある有権者の責任だ。

◆行政直営の仕事数は？



枚方市の全事業数(役所の仕事)は、平成17年度で1422ある。この中で行政直営ですべき仕事は本当はどのくらいあるのか。これについての枚方市の考えを尋ねた。答弁では、1422事業のうち、全部委託141件と、廃止終了が100件、残りのうち民間委託になじまないと考えられる731件(直営が必要分)、即ち、

全体の約32%程度に当たる450件が、全部又は一部といった形で民間委託で充分な事業と考えられると考えている、ということであった。端的に言うとう1422件にわたる役所の仕事のうち約半数である731件だけが役所直営で行う必要性のある仕事だということだ。



民間委託になじまないと考えられる事業

法の制約があるもの、事務事業の性格や主体が公権力の行使に当たるもの、市民、事業者の情報を直接収集や利用するなど情報の管理、保護が厳格に求められるもの

私個人の見解では、例えば追悼式や成人式などもはぶいて、残り約42%程度で行政の仕事は事足りるのではないかと考えている。あとは廃止、民間委託、NPOなどできるということが、今回の答弁にも近い数字として出てきたということだ。

しかしこれは、平成18年7月7日にできた公共サービス改革法に基づく市場化テストを前提にしたものではない。もし、この市場化テストがすすんだ場合、福祉、教育、基盤整備という公から外せない部分、つまり行政直営の仕事となる事業数は、現在の30%台にまで削られる可能性がある。一般にそのような評価をされる時代を既に迎えていることを、認識する必要があると思う。



市場化テスト（官民競争入札）

官が独占してきた公共サービスを、官と民が対等な立

場で競争入札に参加し、価格・質の両面で最も優れた者が、そのサービスの提供を担っていく制度。

◆くずは駅は市内で7位？

枚方にはJR3つ、京阪9つ、合計12の鉄道駅がある。

その周辺の今までの事業費、税の投入について尋ねた。

昭和50年にまで

さかのぼって合計

総額を比較すると、津田駅、御殿山駅、枚方公園駅、枚方市駅、光善寺駅という順になるそうだ。因みにくずは駅は7番目で、乗降客数（この中では枚方市に次いで2番目に多い）を考えると極端に低い数字だ。開発事業者が維持管理などをしてきた経緯もあるのだが、やはりロータリーの混雑など、行政としての対策が必要だ。



◆職員会館の所有



職員会館

枚方市民会館の右側奥の一角にある建物。

以前から何度か質問しているのだが、職員会館

の建設時の経費負担の経過と、現在の所有関係について尋ねた。まとめようがないので、答弁を次に全文そのまま掲載する。

(2)

【答弁】

地方公務員等共済組合法の施行に伴いまして、大阪府都市職員共済組合が昭和42年に解散することとなりました。本組合は、関係法令に基づき、退職年金の支給等を行う団体として設立され、構成市の負担金と職員の掛け金により業務運営がなされていたところです。解散に当たりまして、構成市であった本市にも財産処分に伴う配分金が交付されることとなりましたので、本組合の設立趣旨等を踏まえ、この配分金を職員の福利厚生のための職員会館建設資金に充てることとしたものです。配分金には職員の掛け金が含まれていることから、職員も建設に当たり一定の経費負担を行ったものと考えております。職員会館の財産的な取り扱いにつきましては、全体を枚方市の財産として管理しているところでございます。

当時の職員の一定の経費負担の金額を聞きたかったのだが、やはり「かなり以前のことと詳細はわからない」ということを再度確認しただけであった。職員会館が「全体を枚方市の財産」つまり「市民の財産」であることを確認したに留めた。

Start!



◆防犯灯は市で

現在、街路灯については市が設置、管理は民間委託で行っている。そして防犯灯については、設置および維持管理は自治会が行っており、市は新設費用と電気料金の助成を行っている。これをもし全て市直営で行ったとすると、初年度約1億8千5百万円、その後年間約1億6千万円かかると言う答弁であった。



今後自主防災など協働が必要な場面が増えてきている事を考えると、既に委託となった「広報ひらかた」の配布のように、自治会にとつて煩わしい負担の解消という視点で、この金額ならば射程範囲内ではないかと思う。防犯灯の市での直営を要望した。

◆黒字と言っけれど

構造改革アクションプラン等厳しい見通しを前提としたプランが出される中、今後、総合文化施設、新庁舎、市民病院など建設のビッグプロジェクトが目白押しだが、財政の見通しは立つのだろうか。予測値くらいは聞きたかったのだが今回は得られなかった。

黒字だとは言われているのだが、全国都市との比較では、平成16年度決算で全国732市中、公

債費比率が221位、経常収支比率が432位、これは中間よりも下位であるということだ。また前年度と比べても、本年度がとりたててよい訳ではないことも確認したし、赤字地方債である臨時財政対策債も依然として発行していることに変わりはない。黒字という言葉で単純に喜べないということだ。

◆たばこ税の取り扱い



税収と禁煙対策の板挟み。市にとつてたばこ税の取り扱いが難しい。本年4月から建物内全面禁煙が市役所でも実施されているが、自販機も使用にくい場所へ移動してしまった。たばこについてはネガティブなことばかりだが、平成17年度のたばこ税は25億円もある。これを特定財源でくつつてみるなど、前向きに枚方市独自の使い方を考えてみてはどうか。



ご報告した7問まではHPに全文アップしておりますのでご参照下さい。記載の7問については何とか時間内（1時間）で質疑が出来ましたが次

の項目は時間切れのため出来ませんでした。特に8番と9番はしておきたかったので残念です。

8番では、40年前の小学校での先生の「仕事」と現在の「仕事」を対比し、現在の先生方の負担を考えつつ、子供中心の教育改善を考える面白い質疑となるはずでした。

9番では、特に関西で問題となった同和団体と人権協会との関係と、多様化している人権施策全体についての質疑。

10番では、成人祭（成人式）における行政側と反対された署名活動、その実態に迫る質疑。

11番では、「政治は誰がやっても同じ」という風潮と投票率アップの施策。

12番では、老若男女の社会の中で、税の公平性を問う質疑。

13番では、乳癌撲滅運動であるピンクリボン運動に関しての本市での取り組みを含む質疑でした。本当にもっと質疑の時間がほしかったです。



あとがき

ご報告したいことはまだまだありますが、紙面に限りがありどうしようもありません。是非、HPもご参照下さい。もらった報酬もその日にアップしています。「おつくばらん」のコーナーもご好評いただいております。



市政に関するご意見、ご要望はぜひ枚方市のホームページから相談してみてください。レスポンスが相当良くなっています。ほとんどの事は解決します。それでも解決する必要がある問題が解決しない場合、議員の出番です。ご相談下さい。



昨年秋、成人祭に関して分散方式に対する反対署名が集められました。しかし、新成人たちの志（こころざし）とは別に、選挙半年前の署名であることや代表人4名の中に元議員と前回選挙の立候補者の方が居られたため、選挙目当ての署名の可能性もあると見られ、行政の市長部局、

選挙管理委員会、教育委員会、そして議会が警戒したことはやむをえないことでありました。

私は自身のHP 10月21日付けの日記で「注意」を呼びかけましたが、教育委員会に署名簿を提出されたあと署名者に礼状が届けられたことにより、警察も公職選挙法の関係で注目されているように聞いています。

結果は4月の選挙に関係者が立候補されるかどうかにかかっているようです。何もないことを祈っています。



議員の期末手当20%加算問題では原告のオンブズマンである前田氏の補助参加をしています。11月29日の大阪高裁では負けました。原告は最高裁に上告されますので最後まで応援します。

また、昨年12月8日に支給された期末手当の加算分、約30万円は今回も大阪法務局へ供託いたしました。供託分（全部で約90万円）は敗訴しても議員である間は固定化し、議員でなくなったときに枚方市民に役立つ事に使いたいと考えています。でも当然ながら勝つ事が一番です。

議会のほうは枚方市議会報で部分的に質問者の名を伏せるなど情報公開に対する後退がありました。大槻（民主）議長と小野（公明）副議長のもと、政務調査費の透明化と、いわゆる「口利き防止条例」が12月議会を通りました。議長、副議長のリベラルな姿勢を評価したいと思います。



さて、今期の議員任期も4ヶ月を切りました。次号では総括号を予定すると共に、より改革を前進させるためにも、人一倍頑張らねばなりません。

身体の不許す限りガンバリマス。



くずは駅前報告～ライブ通信

(2006.12現在 555回目のご報告)

くずは駅周辺4ヶ所で朝6:30～8:30

(土日祝雨天そして用事のある日は休みです)

朝6時半からの駅前
2時間報告を実施中。
ガンバリマス。

